

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年11月30日
事業者名:	株式会社ロジエイティブ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	古くなり更新を迎えた非常用発電機は、通常、産廃処分をされますが弊社は電力の不足する新興国へ非常用発電機として再利用（リユース）をします。 国内でも部品取りや再利用ができる非常用発電機は国内にて再販をします。 これにより地球環境への負荷が高い産業廃棄物を減らします 国内の修理では、メーカーが断る「補修部品」が生産終了を迎えた修理も、弊社独自のサービスである基板のオーバーホールや、OEM品の活用により、機器更新の期間を延ばし製造時に発生する二酸化炭素の削減に寄与します。	⑬気候変動に具体的な対策を、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑫つくる責任 責任	弊社営業第14期 令和4年7月1日～令和5年6月30日 非常用発電機リユースによる二酸化炭素排出削減72トン達成 ※算出方法 非常用発電機の平均重量2トン×リユース台数36台 ※算出方法 高炉法で鉄1トンを製造するのに1.8～2トンのCO2排出（東北大学 有山教授論文より参照） ※産廃処分をリユースに転換した台数36台×鉄製造過程にて排出されるCO2削減2トン=72トンのCO2排出削減	指標	産業廃棄物の削減による二酸化炭素排出の削減
				目標	2028年までに二酸化炭素排出量を年間100トン削減（令和4年度比39%増の削減量）
社会	新興国ではリユースした非常用発電機の「整備」「点検」「再販」により間接的に雇用を創出し、貧困問題に寄与します また、新興国での非常用発電機の導入が進むことで、電力供給・生活インフラの安定化により「住み続けられるまちづくり」に貢献します	①貧困をなくそう、⑩住み続けられるまちづくりを	令和4年7月1日～令和5年6月30日 新興国へ36台の販売	指標	新興国への非常用発電機の販売台数
				目標	2028年度までに2022年度比39%増を達成 （年間50台非常用発電機の新興国販売）
経済	弊社が取り扱う非常用発電機は、産業基盤の一つである電力供給の安定化に貢献できる。 国内では激甚化する災害へのバックアップ電源として貢献します。 電力の不足する新興国において安定的した生産活動を実現できます。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	令和4年7月1日から令和5年6月30日まで 新興国供給台数36台 国内新品販売1台	指標	非常用発電機の総販売台数
				目標	2028年までに2022年度比国内販売台数 年間6台（600%増） 新興国販売台数 年間50台（39%増）
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> 重点項目について社内共有を実施 それぞれの取組について月1回の進捗会議を実施 改善策については、短期・中長期に分けて効果検証を定期実施			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 コーポレートサイトの該当URL https://logiative.com/trivia/1243/ コーポレートサイトの該当URL https://logiative.com/trivia/1249/			